

国語科学習指導案

令和5年6月1日(木) 学習指導Ⅱ 第5学年2組(5年2組教室) 指導者 前原 聡

【単元】要旨をとらえて、伝えよう(『言葉の意味が分かること』光村図書5年)

考察	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
育成を目指す資質能力	原因と結果など情報と情報との関係についての知識及び技能 ((2) ア)	事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する能力 (C (1) ア)	言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度
子どもの実態	説明的な文章において、筆者の考えとそれを支える理由や事例が述べられていることを理解しているが、様々な情報の中から原因と結果の関係を見いだすことに課題がある。	説明的な文章において、文章全体の構成から、筆者の考えとそれを支える理由や事例が書かれている段落を捉えることができるが、筆者の考えが抽象的に表れている語や文を見付けて、要旨として把握することに課題がある。	- 自分の考えを本文シートに書き込むことができる。 - 相手の考えを聞いた後に、自分の考えを再構成することに課題がある。
価値	- ブックレビューは、書籍の紹介や批評をするためのものである。書籍の批評をするには、文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、それを基に、自分の考えを形成する必要がある。ここでの要旨は、筆者が文章で取り上げている内容の中心となる事柄や、筆者の考えの中心となる事柄であり、前者は筆者が事実を基に述べている意見のこと、後者は意見をさらに抽象化した筆者の考えのことである。本単元は、ブックレビューとしてまとめる初めての機会であるため、子どもが読んだ文章の要旨を把握して、ブックレビューに掲載することを活動の中心とする。この活動を設定することにより、子どもには『言葉の意味が分かること』で高めた要旨を把握する能力を基に、自分が担当する文章の要旨を捉え、ブックレビューを完成させようとする意識が芽生える。 『言葉の意味が分かること』には、「原因」という言葉が出てくるため筆者の主張を、結果を基に見付ける必要がある文章構成になっている。そのため、内容の中心となる事柄を捉える中で本文における原因と結果の関係について理解することができる。	『言葉の意味が分かること』における筆者の意見と筆者の考えは、それぞれ11段落と12段落にまとめられている。「中」の要点を整理することで、筆者の主張を明らかにしたり、「始め」と12段落を比較することで、筆者の考えを明らかにしたりできる。そのため、文章全体の構成を捉えることで、筆者の意見と筆者の考えが明確になり、全体の構成を捉えながら、要旨を把握することができる。	『言葉の意味が分かること』の筆者の意見は「面」という抽象的な言葉で示されており、重要な言葉として選び出すことは難しい。2人で1枚の本文シートに自分の考えを書き込むことは、相手の考えを聞き、お互いの考えを比較・検討することを促す。そのため、本文を読み直したり、自分の考えを再構成したりすることができる。
見か・考方	言葉の学び方に関する筆者の意見や筆者の考えと叙述、筆者の主張や筆者の考えとそれを支える理由や事例との関係を捉えたり問い直したりすることで、言葉への自覚を高めること。		
今後の学習	「資料を用いた文章の効果を考え、それを生かして書こう(『固有種が教えてくれること』『統計資料の読み方』『グラフや表を用いて書こう』光村5年)」において、文章と図表を結び付けて、論の進め方について考える学習に発展していく。		

指導と評価の計画

目標	文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。		
言語活動	文章の要旨をまとめ、ブックレビューとして友達に紹介する活動		
評価規準	(①知・技)原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) (②思・判・表)「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア) (③主体的態度)進んで文章全体の構成を捉えて要旨をまとめ、今までの学習を生かして、ブックレビューとして友達に伝えようとしている。		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
つかむ	事前	○仕事についての興味や関心を基に、仕事に関わる文章を読む。 I ○自分が担当する文章の要旨を捉え、ブックレビューとしてまとめる試しの活動をして、学習課題をつかむ。 学習課題 要旨を捉えてブックレビューを作成し、友達に紹介しよう	○要旨の内容を捉えることができるよう、既習の説明的な文章の要約文と要旨を並べて提示して、それらの違いを考える機会を設定する。
ふかめる	I	○『言葉の意味が分かること』の筆者の意見と筆者の考えが書かれている段落を見付ける。	○双括型の文章であることに気付けるよう、「始め—中—終わり」に分け、段落相互の関係を捉える機会を設定する。
	I	○『言葉の意味が分かること』の筆者の意見を支えている「中」を事例ごとに分けて、1つ目の事例の要点をまとめる。	○「中」の要点を内容ごとにまとめられるよう、事例ごとに要点を書き分ける学習プリントを用意する。
	I	○『言葉の意味が分かること』の2つ目と3つ目の事例の要点をまとめる。	○それぞれの事例から分かることを表す重要な語や文を捉えることができるよう、本文を分ける観点として「原因」と「結果」を提示する。
	I	○『言葉の意味が分かること』におけるブックレビューを作成する。(本時)	○本文における筆者の意見と筆者の考えを表す重要な語や文を吟味できるよう、傍線を引いたり、気付いたことを書き込んだりできる2人で1枚の本文シートを用意する。
	I	○自分が担当する文章のブックレビューを作成する。	○今までの学習を生かして要旨を捉えられるよう、要旨をまとめる手順を提示する。
ふりかえる	課外	○友達が作成したブックレビューを読んで、気になった文章を読む。	
	I	○ブックレビューを相互評価して、単元の学習を振り返る。	○要旨を把握する力の高まりに気付けるよう、単元の導入と終末においてまとめた要旨を比べる機会を設定する。

評価項目＜評価方法（観点）＞※太字は「記録に残す評価」

◇要旨を捉えることの難しさや意義について、発言したり記述したりしている。
 ＜発言・振り返りシート③＞

◇「始め」と「終わり」で、筆者の意見と筆者の考えが書かれていることについて、発言したり記述したりしている。
 ＜発言・ノート②＞

◇1つ目の事例は11段落の文章とつながっていることについて、発言したり記述したりしている。
 ＜発言・振り返りシート②＞

◇「結果」に着目して、2つの事例の要点を記述している。
 ＜ノート①＞

◇筆者の主張と筆者の考えを捉えて、要旨を記述している。
 ＜原稿用紙②＞

◇筆者の意見や筆者の考えに着目して、自分が担当する文章の要旨を書いている。
 ＜原稿用紙②＞

◇要旨を捉えることのよさについて記述している。
 ＜振り返りシート③＞

本時の学習（５／７時間目）

ね ら い 内容の中心となる事柄と筆者の考えの中心となる事柄を表す語や文を見付けることを通して、要旨をまとめ、ブックレビューを作成することができる。

評価項目 筆者の意見と筆者の考えを捉えて、要旨を記述している。

<原稿用紙②>

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
１ 本時のめあてをつかむ。 ・「終わり」の段落から大切な言葉を選び出せていないから、このままでは、ブックレビューが完成しないな。（課題意識） めあて：大切な言葉を見つけ要旨をまとめ、ブックレビューを完成させよう	○筆者の意見と筆者の考えが端的に表れた重要な語や文を見付けて要旨をまとめ、ブックレビューに書き入れる課題意識をもてるよう、「終わり」の文から筆者の意見と筆者の考えがまとめられている一文を問いかける。
２ １１段落と１２段落の重要な語や文を見付け、ブックレビューを作成する。 ・筆者の意見が１１段落にまとめられていて、筆者の考えが１２段落にまとめられているな。 ・１１段落の最後の一文は「つまり」から始まっているね。これまでのところをまとめているから、最後の一文が大切だな。線を引いておこう。 ・友達が、「始め」にも「見直すこと」という言葉が出てきたと言っているよ。確かに、１２段落でも繰り返し出てくるから、この言葉は大切そうだな。丸で囲んでおこう。 ・なるほど、「さらに」とあるから、１２段落では、これまでの意見に付け加えて、筆者の考えを述べていると考えられるね。「見直すこと」も入っているから、初めの一文に線を引いておこう。 ・１００文字ちょっとで要旨をまとめるときに、これまでに見付けた大切な言葉を書き入れることができたよ。 ・筆者の意見と筆者の考えが表れた言葉を見付けて要旨をまとめて、ブックレビューを完成させることができたぞ。（課題を解決した意識）	○文章全体における１１段落と１２段落の役割を想起できるよう、筆者の意見と筆者の考えが表れている段落を問いかける。 ○１１段落から筆者の意見が表れている一文を見付けられるよう、２人で１枚の本文シートを用意し、筆者の意見を表す重要な語や文に傍線を引いたり、気付いたことを書き込んだりするように促す。 ○１２段落から筆者の考えが表れている一文を見付けられないペアには、重要な語や文を見付けられるよう、１２段落と「始め」の１段落を比較して、同じ言葉を丸で囲むよう助言する。 ○１２段落の冒頭の一文が、筆者の考えをまとめていることに気付けるよう、接続語や文末表現に着目して傍線を引いたり、気付いたことを書き込んだりしているペアを称賛する。 ○自他が見付けた重要な語や文を抜き出し、要旨としてまとめられるよう、１００文字程度で記述するように促す。
３ 本時の学習の振り返りをする。 ・友達と要旨が似ているな。筆者の意見と筆者の考えを捉えて、要旨をまとめることができたのだな。	○説明的な文章の要旨としてまとめることができたことを実感できるように、全体でブックレビューを読み合うとともに、それぞれの要旨を比較するように促す。